

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の核燃料物質使用変更許可申請に係る面談
2. 日時: 令和4年12月15日(木)14時30分～15時30分
3. 場所: 原子力規制庁10階会議卓 ※テレビ会議により実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部審査グループ研究炉等審査部門
本多主任安全審査官、水野係員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
環境技術開発センター 再処理技術開発試験部 研究開発第1課 マネージャー
プルトニウム燃料技術開発センター 燃料技術部 燃料技術開発課 課長 他2名
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 技術副主幹 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料
 - ・プルトニウム燃料第一開発室に係る核燃料物質使用変更許可申請の概要
(令和4年10月13日の面談資料)
 - ・プルトニウム燃料第二開発室に係る核燃料物質使用変更許可申請の概要
(令和4年10月13日の面談資料)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁の本田でございます。それではですね先日
0:00:11	申請いただいて審査してるところなんですけども原子力機構のですね核燃料サイクル工学研究所のですね、核燃料物使用変更許可申請につきまして面談をさせていただきますので、よろしく願いいたします。
0:00:25	今日の面談の趣旨はですね今審査中なんですけれども審査の過程において、申請書の中でねちょっとご説明を、
0:00:36	加えていただきたいなっていう事項がちょっと出て参りましたんでそれをちょっと原子力機構さんにお伝えするということにあと、審査の過程の中でちょっと
0:00:47	確認したい事項もございまして、
0:00:51	確認させていただきたいなということで、面談をさせていただきますまず審査書、申請書の中でちょっと説明させていただきたいというふうに、
0:01:02	思ってることをちょっと申し上げますのでよろしく願いいたします。現象機構の東です。すいません多分、質問とか確認事項多分いくつかあると思うんで、やっぱり1個1個、質問させていただいてそれに対して回答という形でよろしいですか。
0:01:20	結構ですね1個1個です。はい、じゃあそれはそれでお願いいたします。まず大瀬江藤説明、申請書で説明していただきたいのと、
0:01:31	申し上げますのでよろしく願いします。
0:01:37	まず一つ目はですね、プルトニウム燃料第2開発室なんですけれども、グローブボックスのですね解体撤去ということは変更の内容に含まれてはいるんですけれども、そのグローブボックスを解体するときそのグリーンハウスの
0:01:55	中からですね廃棄物を取りなさい、でも、汚染拡大、感染拡大防止という観点での措置をですね、明確に書いていただきたいっていうことでございます。
0:02:08	すいませんここ、1個1個やってた方がいいですか、それともこれで、それとも1個1個にしましょうか。
0:02:15	もっと行く方がいいかなと思いますんでこれについていかがでしょうか。
0:02:35	スドウです。はい。回答の方になりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:40	グローブボックス等の大型機器ですね。こちらはプールに申請書の刊本版。はい。添付書類の1なのですが、
0:02:51	はい。ページ番号で言いますと、
0:02:53	添付1-100ページになります。はい。
0:02:56	こちらに22-3。
0:02:59	固体廃棄物、廃棄物の処理方法。
0:03:04	両括弧3。
0:03:05	本木の処理方法、こちらにですね、記載の通りでして、
0:03:11	その処理の方が確認できますでしょうか。
0:03:15	ね、ちょっとできないので、ちょっと今ご用意してるもので結構なんでちょっとでも構わないんで、そこにですね、大本基金の処理方法という記載がございます。
0:03:28	はいどうぞ、続けてます。
0:03:30	グリーンハウスでそれでグリーンハウス等を設営しまして、その中で解体を行うと。
0:03:37	またですね、グリーンハウスのとじ込み機能はですね、プルの広東版添付書類の1、こちら添付、1-2ページの方になりますけれども、
0:03:49	こちらの1-4、グリーンハウスのとじ込みの機能に今記載がございまして、
0:03:56	さらに、グリーンハウスからの、
0:03:59	確認の物質で汚染された物品の搬出は、
0:04:03	添付の1-3ページの1.5、物品の出し入れにですね、グリーンハウスのバックポートに取りつけられたビニールバッグにより、
0:04:15	気密性を損なうことなく行くと、このような記載がございます。従いまして、グリーンハウスから背景を、また、用意できましたごめんなさい。
0:04:27	これは、ここに書かれてるグリーンハウスっていうのは今回そのグローブボックスを、
0:04:32	解体するときに使うグリーン関数にも当てはまるってことでいいですかね。
0:04:37	はい。まさしくその通りです。やはり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:41	わかりました。規制庁の話はわかりましたつまり強化で、評価の観点番 で
0:04:48	グリーン関数の閉じ込め機能っていうのをこのようにしてて、これは、
0:04:52	だから、今回の
0:04:55	グローブボックス解体にあたってもそうだし、他のね、今後何か、
0:04:59	別な作業でグリーンハウス建てる時も、こういう運用しますと。
0:05:03	インフラに理解しましたが、
0:05:05	それでいいですか。
0:05:09	はいその通りで結構です。
0:05:12	では、つまり、もう既許可で既許可の申請書の中で説明がなされていま すと。
0:05:19	ということになりますねじゃ。
0:05:22	はいその通りです。
0:05:24	はい、わかりました。
0:05:27	バックアップ事っていうのは、
0:05:31	あれですかグレー風呂ボックスでいうところで、この難聴で出し入れを する悪いところあるじゃないですか
0:05:38	パソコンみたいなイメージでいいですか。
0:05:42	J-スドウです。その通りです。わかりました。はい。
0:06:00	これはあれですか癒着しますか、V Lバックは。
0:06:06	J Aの須藤です。溶着を行います。するんですね。
0:06:14	あ、規制庁の方ですね、そうするとバグっとみたいな感じでいいですか もう、イメージとしては、
0:06:21	はい。その通りです。わかりましたありがとうございます。
0:06:25	これは規制許可の審査でしょうね。
0:06:30	伝えがありますっていうことで、承知しました。
0:06:34	じゃ次行きます。
0:06:41	同じくプルトニウム燃料第2開発室なんですけどもウラン濃縮同1.5と か1.4%から5%に変更する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:51	という内容がございます変更がございますけどもそこでどうしてこういったの申し込みを変えるのかっていう理由ですね、キッカ形みたいなものなんですけども、
0:07:09	目指しの中ではプルトニウム第2開発室で、
0:07:13	ある山前核燃料物なんていうか処理を進めるみたいなの。
0:07:19	通例図があったと思うんですけどもこれは申請書の中でこう明記。
0:07:24	してもらいたいんですけど、これいかがでしょうか。
0:07:30	漏えいのストウです。はい。その件に関してですけども、
0:07:35	ウラン濃縮度5%に変更する理由としまして、
0:07:40	プルトニウム燃料第2開発室で今実施している残存核燃料物質の安定化処理を進めることをこういう
0:07:50	今後ですね、補正の別紙、A4、変更の理由の該当箇所の方に、
0:07:58	追加の方を検討していきます。
0:08:01	規制庁の方でわかりました。じゃあ、ぜひ検討よろしくお願いたします。
0:08:08	では次にいきまして、
0:08:12	何かあります。
0:08:15	はい。次いきます。
0:08:18	C P F、
0:08:20	清家規制庁の金伊達さんの高レベル放射性物質
0:08:24	研究施設なんですけども、一つは、
0:08:29	分析を以下ですね1分後でグリーンをですね。
0:08:34	福島第一の方に返却するっていうことを、申請書の中で明記、明確にしたい。
0:08:41	と思うんですけどこれについてはいかがでしょうか。
0:08:47	はい。原子力機構の矢野と申します。
0:08:51	ただいまのご質問ですね、申請書現状の記載、現状の申請内容の記載といたしましては、HFだけではなくてですね
0:09:04	場合によって分析の仕事等に関して他の施設に持っていくということも踏まえて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:10	私どもの申請の案としては、福島第1原子力発電所等を算出するという記載にさせていただいておるんですが、
0:09:22	はい。ご指摘のところを踏まえましてですね、福島第1原子力発電所の返却、
0:09:32	または人の分析様の室等へ搬出すると、その1F以外のところにも洗い出す可能性がございますので、その辺をちょっと明確にさせていただいた形で、
0:09:45	少し記載の方ですね、工夫させていただければと考えております。はい、わかりました。はい。
0:09:53	規制庁の方ですねご検討よろしくお願いたします。
0:10:02	と、次、もう一つ高レベル放射性、
0:10:06	普通、
0:10:08	暴力財物研究施設にあるんですけどもT A Fレベルを貯蔵する時の閉じ込めの措置。
0:10:17	こういうこと。
0:10:18	ちょっと申請書上においてですね現状の申請書図では
0:10:24	金属容器に収納して貯蔵するとあってですね、金属容器、
0:10:29	閉じ込めの措置の境界になるのかってのはちょっとわからなかったし、あと指導の措置がこれで行なわれているのかってのはちょっと今の申請書上でわからなかった。
0:10:40	明確ではないところなので、
0:10:43	この貯蔵する時の措置等に今後の措置を説明していただきたいんですけどこれについていかがでしょうか。
0:10:52	研修機構等です。ご指摘の点ですが、
0:10:57	失礼しました。今回は、デブリの貯蔵場所としてはですね、私営にセルの中にある、
0:11:04	ピローピットという場所が、をしデブリの貯蔵場所として申請をさせていただいております。で、
0:11:12	院長とピットセルの中にございまして、他の年齢も同様なんですけど、この場合の規律境界は伏せる。
0:11:20	辞退ということになっておりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:23	記載の通りですね金属に入れて収入をするんですが、おっしゃる通りですね金属駅で気密を担保してるわけではございませんで、乗せる。
0:11:35	自体で気密を担保していると、閉じ込めをそこで確保しているというような格好になってございます。
0:11:44	はい。以上です。はい。規制庁の郷です。ありがとうございます。
0:11:53	進めるセルが気密構造であるのでそこで閉じ込められていますっていうご説明。
0:12:00	実際にはどうなんでしょうその、何かビニール。
0:12:04	袋か何かに入れて金属を切れて、ここに入れるっていうそういう間形になりますか。
0:12:10	実算はですねセルの中、駐車場が高いのはい。はい。ビニールW A Cみたいなものに入れても、そんなに長いことがないというんですかね。すぐに劣化してしまうのもあってですね。
0:12:27	実際にバックで間瀬の中にある自ところではBブロックに包むというようなことはございません。すいません。はい処理処理が終わってですね、グローブボックスに出してきて、搬出する際は
0:12:42	この記載の通りなんですけど
0:12:44	グローブボックス等からバックアウトして、ビニールバッグで梱包するというような対応になります。以上です。
0:12:53	院長の合田です。ありがとうございます。ちょっともう一つ確認ですけどその貯蔵なので、このグローブボックスから、一応その作業として終わったので、そのセル内のピットに戻ってきて貯蔵するっていう、そういう部分はあるんですか。
0:13:10	考えられるんですか。
0:13:12	はい。藤でデブリとして扱ってる家はですねちょうど場所は政令な飯野ぴんとピットということにしてございますので、調査する場所はあくまでセル内ということでございます。はい。
0:13:25	以上です。ちょっと規制庁の方でちょっと非常に簡単な言い方になっちゃったわけなんですけど例えばそのその日の、
0:13:32	分析作業が終われば、元あったピンピンのピットに戻ってくるっていうふうには思っていますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:43	11日で戻るかっていうのはその作業計画にもよると思うんですけど例えばですね、塊のものから一部文書しましたって、その部分だけ分析になってますって残りをどうするかというと、おっしゃる通りで、
0:13:56	その院長をピットに戻すということになろうかと思います。
0:14:01	はい。
0:14:02	はい。以上です。はい。規制庁の本多です。ありがとうございました。
0:14:07	江藤もちょっと審査の過程で、申請書においても改めて説明を、
0:14:16	求めたいということに対しては、
0:14:25	補正申請することを検討していただくっていうことの見聞ありましたし、
0:14:31	或いはその既許可の申請書の中で、既許可のそうですね許可書の中で次、記載があるのでそれで十分であるというご説明でしたんで、
0:14:43	その既許可の審査評価の申請書において読める部分じゃない、他の意見については
0:14:54	ちょっと説明の方、ご検討よろしくお願ひしたいと思ひますけども、よろしいですかそれで。
0:15:03	ヒガシですちょっと確認ですけども、ごめんなさい。そっち2件についてはですねCPF1件とプールに1件っていうことでよろしいですかね。
0:15:14	CPFとブルー国です。富井とCPFは1件ずつ。
0:15:20	全体で2件ということで承知しました。はい。はい。具志堅古閑ですか。
0:15:29	元聞こえるんです。CPFに関してはですね先ほどの、
0:15:33	搬出の際の記載の部分について、コーサーの方、検討ということで承知しました。以上です。
0:15:45	今日Jー水道ですプロの方も承知いたしました。
0:15:52	はい。はい。規制庁の権田ですありがとうございました。
0:15:58	それではちょっとここからはですねちょっと改めてねご説明いただきたいちょっと事柄をちょっと、すみませんまた質問形式で、
0:16:08	してください。よろしくお願ひしますまず、プルトニウム、
0:16:12	燃料第一開発室、
0:16:14	なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:19	はい。
0:16:20	今回気赤井測定試験を行うために
0:16:26	可搬型の非破壊測定装置を追加してあと目的も、目的と使用の方向も追加するという変更内容でございますけれども、
0:16:39	10月13日の面談資料において、部屋改組測定試験における従事者の1年間の実効線量を評価した結果は、
0:16:50	協会の申請書に記載されている従事者の年間の
0:16:56	推定実行性の未満であったため、
0:17:00	役員、
0:17:01	測定技術開発を使えと者対策の変更はないと。
0:17:06	あるんですけども、評価を行っているということなんですけど具体的にどの程度だったのかっていうのをちょっとご紹介いただけますか。
0:17:18	経営原子力機構の五味でございます。
0:17:22	ここ、社会測定支援におけるですね、市放射線業務従事者の1年間の実効線量は、0.52ミリシーベルトパー年と評価してございます。
0:17:34	だけど、次。
0:17:37	これは規制庁の小村です。これは何つうんでしょう。その作業時間的には、現実的に近い時間を使ったのか或いはもう保守的に、
0:17:48	やってしまったのかどちらなんですか。
0:17:51	ある程度ですね現実的な数字を考えて評価するようになってございます。わかりました。そうなんですか。
0:18:02	そうすると、規制庁の恩田ですそうすると年間、年間そんな長い時間じゃない。
0:18:14	離職票のみでございますおっしゃる通りでございます。ちなみにどのぐらいの時間を設定されたんですか。
0:18:22	えっとですね、下、実際にその評価した際にはですね、1日当たりの測定作業の回数を5回、
0:18:32	それを1ヶ月当たり使ってですね、実施したことを考えていますそれを12ヶ月間ですね、実施したという想定でございます。1日当たり5回で、
0:18:45	一つ、5日、5日、5日5回、月に5回、これを年間12回、
0:18:55	あまり何時間という言い方は、あんまりこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:59	できないんですか。
0:19:02	麻生です。その作業においてですね、その作業時間とか、そういったところも設定をしておりますので、その値とですね、三つの回数等をかけ合わせる時間が
0:19:21	すごいですね、もうすごい、例えば100簡易化ですとか、80ぐらいですぐらいそんな言い方するとどんな感じなんです。
0:19:37	機器です。
0:19:43	難しいか、また、どこがいいですわかりました。
0:19:48	規制庁の米田ですこれはまた、結構です。こちら中小機構もごさいますすいません。ちょっと今、出したんですが、1ヶ月当たり、
0:20:02	ええ。
0:20:03	すいません。
0:20:05	1ヶ月当たり5時間程度でございます。
0:20:09	これを年12回で一つ、毎月みたいな、
0:20:15	中小機構の分が相当でございます。
0:20:17	ありがとうございました。よくわかりました。だから、
0:20:25	ちょっと、
0:20:27	既設の方なんですけれども、今回線量Uとカプーの
0:20:37	10005000組成とか線源強度を見直したり、
0:20:42	あと弥生のやつを弥生のやつのその、
0:20:47	目的作業を終了したんで、
0:20:50	一通り見直してはいます。
0:20:53	けれども、
0:20:55	その
0:20:57	結果と比べると非常にこの可搬型、何とか装置を使い自活使ったときのその、
0:21:06	従事者もこの程度だしあと管理区域とか、その周辺監視区域に与える影響っていうの非常にちっちゃいっていうふうに思っていますかね。
0:21:17	求職票のみでございます。おっしゃる通りでございます。ありがとうございますはい、ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:39	あ、それでちょっと今規制庁のホンダですけれども、古井一井でちょっと見線源線量を見直しましたっていうお話。
0:21:48	申請内容なんだけれども、この
0:21:51	11、10月13日の面談資料を、
0:21:55	ちょっと移動させていただけると助かるんですけど、お願いできますか。
0:22:04	はい、原子力機構ムラカミです。お手元にございますかね10月あります。はい、わかりました。管理区域境界の評価は、
0:22:15	その資料の8ページからになっております。この辺りですかね、まず、させていただきます。
0:22:24	8ページにですね部屋の配置図ございますけれども、むかの紙に向かって左側が従来からMOXを使った設備で右側のT
0:22:35	1とかですね120271の設備がもともとウランしか使わなかったということでこちらで浦野処理が終わったので、MOXを使うことで、再評価するというような中身になってございます。はい。
0:22:49	モデルがですねその次のページの9ページ10ページにございまして、線源そのものがですねいう目標となったところを、MOXに変えて、
0:23:01	再評価するというものです。設備間の距離は変わりませんので、基本的には各部位の中心からの距離評価点までの距離ってのは変わらないんですけども、確実に大きさが、
0:23:12	変わってきますんでちょっと見た目的には非距離のとり方が株主の表面からの距離のとり方になってますんで申請書上は、
0:23:23	距離が変わって見えるということで、ただ中心距離は変わっておりませんっていう、モデルがそういうものになります。線源だけがMOX、腰痛からMOXに変わるという、
0:23:34	というような内容になります。はい。
0:23:37	11ページがですね、宣言の状況になりますけれども、
0:23:44	中ほどにですねプルトニウム同位体組成とありまして、こちらに再処理後40年ということで、はい。従来は再処理の
0:23:54	1023、1000日、麻生です。修正したと思うんですけども現状ですね、やはり時間が経っておるということで、時間で見るとですねこの40年

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	後というのが一番厳しくなりますので、このプロトニウムを用いて再評価すると。
0:24:13	ということになります。結果がですねその下の $4.4 \times 10^{-10} \text{mSv}$ パンサーヶ月ということで、基準の 1.3 に対しては、
0:24:25	十分低いということを確認したという、簡単に申しますとそういう結果になってございます。
0:24:30	一般切った方がよろしいですか。そうですねはいありがとうございます規制庁の方ですありがとうございます。
0:24:37	8 ページで、
0:24:42	はい。
0:24:43	最初のポツでこの弥生のやつを止めますってということで設備を
0:24:53	当該評価試験用資料製造収束に伴い、
0:24:58	配置する 1000 グラムから MOX に、
0:25:02	変更ってあるんですけど、これが、
0:25:06	この設備設備が変わるというか、
0:25:11	ああそうか設備がこのように音が変わるんでこのウランから MOX に変わるってそういうふうな、
0:25:17	ことでいいんですか。
0:25:20	はい簡単に言いますとそういうことになります。もともとのその設備を設置した経緯が、金属ウランのですね、安定化処理ということで、この設備を設置してそれ専用に使目的も徹底してですね、許可を取っておったんですけどもこの処理が終わりましたので、
0:25:39	運営、その目的、もともとの目的は消えて、今後は、MOX で使いたいのでそちらの目的に鞍替えするというか、
0:25:49	そういうものになります。単純に今しゃべったんす木造の目的が、
0:25:58	終了しつつ、終了したので当然、
0:26:01	目的のない条件での線量評価したってそれは間違いになっちゃうから、そのまま残るというか、
0:26:09	違う。
0:26:10	違うやり方でやったってそういうことですか。違う、違うやり方っていうのはその残ったものって、
0:26:22	機構ムラカミです

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:24	もともとですねウランしか使わないということで、線量評価上もですね、ウランとMOX比べると当然、裏の方が線量低いですので、その条件で、
0:26:35	使用の目的もですねそれにしか使わないという限定の事を今までは使っておったということでもあります。それを今後、
0:26:44	MOXを使うということになりますので、線源条件がですね、厳しく厳しいプールを使うということになりますので、評価含めてやり直したということになります。
0:27:16	すいません。
0:27:21	市長の金那須で従事者の方も当然変わってますよね従事者のところもあれかな。
0:27:43	従事者の、
0:27:44	またちょっと理由が、事業が違うっていうかあれですのでその組成の変更に伴うだから21ページから始まるってことです。ありがとうございます。はい。そういうことでございます。
0:28:02	すいませんこれちょっと先ばっちゃいますけど、これは23ページにある変更変更後で、
0:28:09	当初の
0:28:12	組成宣言させないこともあってこれ、これだけ。
0:28:16	変換から出た瞬間、
0:28:19	一番でかいのが間を乾式工程。
0:28:23	いいですかね。一番強いのをせよというか、最大が乾式工程ってのは変わらずに、
0:28:35	実行推定実効線量が若干上がってますとそういうふうに分ればいいですか。
0:28:44	はいそうとらえていただければ結構かと思います。
0:28:58	それでちょっとすみませんこれ規制庁の本田ですけども、言葉の
0:29:03	見方の問題でしかないんだろうけど、もう弥生のお話をいろいろ主目的を削除しますっていうきっかけと、
0:29:19	あと組成。
0:29:21	変更と、線源共同がちょっと見直しましたっていう二つの、
0:29:27	理由。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:28	で、
0:29:29	線量評価の結果を変えました。
0:29:33	一つのね、塑性流で一つの小評価結果でいると思うんだけど、
0:29:39	今度ちょっと笹木に行った社会設定を行って機能し、それから測定実験を、その結果を上げるにはもう一応こんだけですっていう評価結果っていうのがある。
0:29:55	わけですけども、当然F規格、
0:29:59	二つ比較するのも全然桁がね、従事者に関してだけですけれども、従事者に関しては数値がね、明らかに間違ってる、あと管理区域と周辺監視区域の方でも、
0:30:10	管理がない、測定の方の明らかに小さいっていう、一応この行下、カクサケンさんとしては一応この企画をして、
0:30:24	比較調査評価の結果を比べて、
0:30:33	一番
0:30:35	非破壊測定の方の線量としては十分小さいんだっていう結論を出しましたと、いうふうに思いますけど。
0:30:46	大丈夫です。これでいいですか。すみません原子力機構の方でございます。おっしゃる通りでございます。はい。すみません。ありがとうございます。で、そのことがその辺をまさに中、
0:31:01	資料、これが33ページ。
0:31:19	第3のところの、こういう代行の紙になってます表現になってます。
0:31:29	いうふうな理解をしました。ありがとうございます。
0:31:34	プレイ
0:31:43	吊り値についてはありがとうございましたじゃ次プル2に進んでよろしいでしょうか。
0:31:54	進めさせてもらいます。
0:32:00	まずプル2の方で答えは1、一世IIを増設するという変更内容でございますけれども、ちょうど確認ですけども、
0:32:14	プールの粉末がその場合、固体廃棄施設の方が持ち込まない。
0:32:20	と。
0:32:21	核燃料物質が付着したのも持ち込むことになると思うんですけども、そのもう付着したっていうのはそこ、当然その粉末を意味し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:33	出るものではなくてっていうふうに理解してますけど。
0:32:37	それと、
0:32:40	ここは、
0:32:42	議会としては正しいですか。
0:32:50	そうです。今のご質問なんですが、ちょっとまず、我々の方で放射性固体廃棄物ということについてまずちょっと説明させていただきたいんですが、いかがでしょうか。どうぞ、お願いします。
0:33:06	衛藤。
0:33:07	放射性固体廃棄物というものは管理区域内で使用した機材でして、
0:33:14	包摂物質で汚染しているもの、あとはサーベイができないものというものになります。
0:33:24	放射性固体廃棄物は、主にグローブボックス等から発生しております、
0:33:31	グローブボックスからバックアウトする際は、
0:33:34	表面等に付着したこの放射性物質を
0:33:39	可能な範囲で除去しております。この放射性固体廃棄物は、
0:33:46	ビニールバッグに収納して講習柱を用いて、
0:33:51	溶着することで、自己水を確保しております、そのあと、廃棄物容器、伊井の方に封入いたします。
0:34:01	このビニールバッグで封入された廃棄物、ビニールバッグで、密封されて、廃棄物容器に封入された放射性固体廃棄物は、
0:34:13	プール施設においてはですね、負圧管理された固体廃棄施設の方に保管の方をしていると。これは
0:34:23	放射性廃棄物全体のこの流れということについての説明になるんですが、質問の内容に対して今の説明でですね、
0:34:34	回答になってるかというところについてはちょっと麻生です。はい。
0:34:45	矢田からですね結局ちょっとあんまり考えにくいんだけども私がお質問させていただいたと粉末っていうね、言葉、
0:34:56	人だけ取るとそうなっちゃうんだけども、ただ、ここで今、須藤さんご説明あった通りビニールバイクにまず入れますと、
0:35:05	付着したものを付着した物品を訴えをね、
0:35:09	それで、それは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:14	把握しますと、いうご説明があったので、そのビニールバッグの中で閉じ込められてるんだなっていうことは理解でいいました。
0:35:27	かつ、もう
0:35:30	溶着して、
0:35:32	密封されたビニールバックはドラム缶なんかの容器に入れた上で、答え廃棄施設で保管しますと、固体廃棄施設っていうのは負圧管理、
0:35:45	されているってことなんで、
0:35:48	かなと思います。この負圧管理ってのはいわゆる
0:35:52	聞いて、最後いろいろなフィルターを通過して。排気塔に通じてるってその、
0:35:59	気体廃棄設備は、廃棄旧はい。排気系か排気系統の
0:36:05	ラインができてるっていう理解でいいですか。うん。
0:36:10	基本のストウです。その通りになります。わかりました。
0:36:20	規制庁の今伊達さんの付着した放射性物質はその可能な限り、可能な範囲で除去しているっていう説明だったので、何かこう、
0:36:33	あれですか
0:36:35	ここまで除去しなきゃいけないとかっていうのが数値的な、何か決まりってあるんですか。
0:36:45	住民のストウです。特にその数値的なものはなくて、可能な範囲ですね、
0:36:53	バックアウトする前に今
0:36:56	除去するというようなことになります。他あります。
0:37:10	規制庁の問題、この
0:37:13	確認事項の全社わかりましたありがとうございました。
0:37:23	まずプルトニウム第2開発室ですけども、濃縮度を5%に変更する際に、限界質量も、
0:37:35	変更されていると思うんですけども、この質量の妥当性をちょっとご説明いただけませんか。
0:37:45	新里です。
0:37:48	π 全員と言っているその臨界性をですね、十分な検証がされた、臨界計算報道システム、
0:37:58	S C A L E 4.4 というものを使用して評価しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:03	それで、評価条件につきましては、プル2の簡便版の添付書類1、
0:38:10	6.3、臨界管理方式、飯野様(3)、こちらの考え方に基づきまして、10月13日に面談した際に提出した資料の
0:38:25	P-33になりますけれども、こちらの方に記載しました条件で評価の方を実施しております。その中文献十分な検証がされた臨界計算コードシステムを、
0:38:40	使用しているということから、妥当であると、いうように考えております。
0:38:46	DOTじゃもう、
0:38:48	いいな。
0:38:50	久米さんでした。
0:38:56	はい。
0:39:05	5月。
0:39:16	規制庁の本田です。この行動っていうのは非常に、
0:39:21	すいません一般的な3、一般的中はこういう、
0:39:26	委員会の評価をするにあたっては一般的に使われる計算コードだと思うんですけど、それで、そういう理解でいいですかと思う。
0:39:47	須藤です。申請書のほう、申請書の方にですね、先ほどのSchoolの文献につきましては、県が評価書の方にですね元本バーですけども、
0:40:01	こちらの方に記載がございまして、十分そのほど同じことですけど検証されたものであるというものになります。
0:40:12	わかりました。
0:40:47	規制庁権田ですわかりましたありがとうございます。ありがとうございます。CPFの、よろしいですかね。
0:41:11	規制庁の方ですCPFの予定なんですけれども、デブリのね分析に係る作業の従事者の線量は、扇形という形だったかなと。ですけども、
0:41:25	詰めていただけてますけれども、新契約においては
0:41:31	図従事者、
0:41:33	線量が最大となる点とか、
0:41:37	あと、その線量の評価結果には線量が、
0:41:43	最大となる評価点と線量は従事者のですね、従事さんも、
0:41:47	最大となる線量と評価点に変更がないと理解してるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:53	ちょっと改めて教えていただけたらと思います。
0:41:56	いや、あんた達が、
0:42:00	はい。原子力機構の矢野です。ですね。
0:42:03	線量評価に関しましては、申請資料のうちですね、添付資料の遮へい評価の部分ですね、11番のところで、
0:42:15	一応燃料レベルに関する線量評価ということで、記載をさせていただいております。で、簡単に申し上げますと、従来、高速炉燃料をベースに、飛散評価しておりますが、
0:42:31	軽水炉ぐらいのブルーを1グラムだけですが、持ち込むにあたってですね、その
0:42:38	従来燃料の従来取扱制限の中でですね、1グラムが
0:42:44	1筆グリーンで、残りのキャパの部分が従来燃料というところで評価した場合に、
0:42:52	どういう評価になるかということで計算をしております。
0:42:57	1Fデブリに関しては、
0:42:59	報酬的な評価になるようにですね、 γ 線と中性子線それぞれ発生数が高くなるような条件を、
0:43:08	東京電力さんからいただいた燃焼の条件をベースにですね設定いたしまして、
0:43:16	評価をしております。家、
0:43:19	今回はですね、表の2ポツ、2.22ですかね。
0:43:27	スペクトルを評価してですねシーベルトに換算するための完成係数をそのエネルギー群ごとに掛けて、全部足し合わせたときですね。
0:43:38	どうなるかということで、評価した数字がこちら、表の
0:43:43	上の2.2なんですけど、
0:43:48	中性子線ですね、若干ケース医療燃料ということで今まで評価してたものに対して、少し
0:44:00	感知高くなるんですが、CPF全体としましては、ガンマ線の費用がとても高い。
0:44:08	線量評価になっておまして、有効数字上は全部足し合わせたときに、ガンマ線の企業で隠れてしまってますね、中楸の影響がほとんど出てこないということになりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:23	そういうような被ばくとしては、従来の燃料と一緒にの値になるということで評価を行っております。
0:44:33	ですね以上燃料デブリの取り扱いにおいても、評価上はですね、従来の計算と同じ値になるということで、
0:44:43	今回改めて、評価をし直すということは必要ないと、というような判断をさせていただきます。
0:44:51	簡単ですが、以上になります。
0:44:57	規制庁の本田です。ありがとうございます。
0:45:03	管理区域境界については前にご説明いただいたあれですね
0:45:10	ちょっとすいません繰り返しになっちゃって申し訳ないんだけど管理区域、
0:45:15	については、その同じだけそのC P Fの構造上の話でしたらですね、ちょっともう1回いいですかそこだけ。
0:45:24	はい。管理区域倒壊に関しましてはですね、すみません原子力機構の矢野です。管理区域境界に関しましてはですね、
0:45:34	えーとですね、前回ですかね、の面談でもご説明差し上げた通りで、
0:45:44	とですね。
0:45:49	すいません。
0:45:51	何なんですか。
0:45:56	工程の説明で恐縮なんですけど
0:46:00	現在評価しているポイントがですね、廻谷全く関係ないんですけども、あそこ。
0:46:06	何ですかね、レッド区域と呼んでるはい。実質上その管理制限値がない部分の、
0:46:17	になっている廃棄物ちょうど高年や隣接している壁が、その部分だけということで、そこが一番高いですというような評価をしております、
0:46:29	はい。ベベル使う使わないに関係なくですね、そこしかネット区域に隣接してる場所がないものですから、
0:46:39	うん。なくてですね、あと、必ず核燃料物質を取り扱ってるところから、外壁のところまで、それなりに距離がございますので、
0:46:49	そういう点でこの部分がチャンピオンということで、評価をしています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:56	いう形になります。はい。以上です。はい。ありがとうございます。
0:47:18	それじゃ最後コアのこの種線量に関しては周辺監視区域もちょっと変わって、
0:47:24	出ます。変更されてますけどこれは、
0:47:27	申請書を見るとその黒1の、
0:47:31	あれですよ
0:47:32	弥生のやつも、それがなくなったのが1校、影響が大きいというか、
0:47:39	そういうふうに申請書では読んだんだけどそれで、
0:47:45	資料に全く、
0:48:00	これ、
0:48:15	こちら原子力機構ムラカミですけど。はい。はい。はい。はい。今周辺監視のご質問いただいたことなんですけども、一番大きいのはですね先ほど説明したプールの組成をですね、
0:48:30	40年のビルドアップを見込んだということで、変更しておりますのでその影響で、
0:48:37	診療が上がっちゃってるんだ。
0:48:40	ところになります。
0:48:48	25ページからについては、さようでございます。ごめんなさい、すみませんありがとうございます。
0:49:00	結果、最大評価時点に変更あり。
0:49:14	はいわかりましたありがとうございます。
0:49:24	ちょっと、
0:49:28	そんあ、規制庁の本田ですけども、ホンダからは一応確認させていただきたいと。
0:49:36	そういうことをお伝えした。
0:49:39	来ました。水野さん何かあるんですか。
0:49:59	上がります。いや、大丈夫です。よろしいですか。はい。大丈夫。
0:50:06	減少期コースさんから何かあります。
0:50:10	これに関して各先でも何かありますか。
0:50:18	原子力カクサケンとしては特に質問等ございません。以上です。
0:50:24	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:25	当然、規制庁の門田さんありがとうございました。
0:50:33	申請書でのご説明をご検討いただくことになったんですけど今後土肥銀行ヒガシ説ちょっとカクサケンとまた話はしますけれども多分末メーターの冒頭にあった2件ですね。
0:50:44	についてはちょっと追加でちょっと補正する方向でちょっと進めたいと思います。
0:50:50	まだ補正申請を出しておりませんので、そこにも入れるような形になると思いますのでいわゆる手続き上は補正申請を1回で、ちょっとすべてを分網羅した形で、
0:51:02	構成しようかなと思ってます。ちょっとちょっとまた正式にご連絡します。
0:51:07	わかりました。はい。
0:51:11	ありがとうございますじゃ特になければこれでベンダー終了いたします。
0:51:16	どうもありがとうございました。
0:51:19	ありがとうございました。はい。失礼します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。